

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年3月10日(2016.3.10)

【公開番号】特開2014-18560(P2014-18560A)

【公開日】平成26年2月3日(2014.2.3)

【年通号数】公開・登録公報2014-006

【出願番号】特願2012-162521(P2012-162521)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成28年1月25日(2016.1.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可変表示を行い、表示結果として特定表示結果が導出表示されたときに遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

遊技者の第1の動作を検出する第1の検出手段と、

遊技者の前記第1の動作とは異なる第2の動作を検出する第2の検出手段と、

遊技者に前記第1の動作を行うことを促進する第1の促進演出と、遊技者に前記第2の動作を行うことを促進する第2の促進演出とを実行する促進演出実行手段と、

を備え、

前記促進演出実行手段は、

一の可変表示において前記第1の促進演出を実行する場合、前記第1の促進演出の実行前の所定期間と実行後の所定期間との少なくともいずれか一方と、前記第1の促進演出の実行中の期間は前記第2の促進演出の実行を実行せず、

前記第1の検出手段で前記第1の動作が検出されたときと、前記第2の検出手段で前記第2の動作が検出されたときとで、同一の特定演出を実行する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

(1) 上記目的を達成するため、本発明に係る遊技機は、

可変表示を行い、表示結果として特定表示結果が導出表示されたときに遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

遊技者の第1の動作を検出する第1の検出手段(例えばコントローラセンサユニット35Aなど)と、

遊技者の前記第1の動作とは異なる第2の動作を検出する第2の検出手段(例えばプッシュセンサ35Bなど)と、

遊技者に前記第1の動作を行うことを促進する第1の促進演出と、遊技者に前記第2の動作を行うことを促進する第2の促進演出とを実行する促進演出実行手段（例えばステップS544やステップS555の処理を実行する演出制御用CPU120など）と、を備え、

前記促進演出実行手段は、

一の可変表示において前記第1の促進演出を実行する場合、前記第1の促進演出の実行前の所定期間と実行後の所定期間との少なくともいずれか一方と、前記第1の促進演出の実行中の期間は前記第2の促進演出の実行を実行せず（例えばステップS606の処理を実行する演出制御用CPU120など）、

前記第1の検出手段で前記第1の動作が検出されたときと、前記第2の検出手段で前記第2の動作が検出されたときとで、同一の特定演出を実行することを特徴とする。